

障害者の自己決定

浅野史郎

浅野史郎と障害福祉

(株)土屋 土屋総研の特別研究員

重度訪問介護事業を全国展開

利用者:

528名(男性298名/女性230名)

うちALS118名、筋ジストロフィー50名

浅野史郎と障害福祉

北海道庁民生部福祉課長

1985年4月から2年

知的障害者入所施設のあり方に大きな疑問

厚生省児童家庭局障害福祉課長

1987年9月から1年9ヶ月

グループホーム制度化、重症児通園モデル

浅野史郎と障害福祉

宮城県知事

1993年から3期12年

「みやぎ知的障害者施設解体宣言」発出

2004年2月

重度障害児を普通学級に

障害福祉は 可能性の哲学の 実践

浅野史郎

障害は不幸ではない、不便なだけ

ヘレン・ケラー、乙武洋匡

身体障害者とは、

身体的に問題があるために介助を要する人

障害者はあわれで、
不幸で、かわいそう

(今までの)一般市民

介助者なんていない

ロボットが介助をすればいい

H氏の言葉

当事者主権

障害福祉の歴史は
いい方向に進みつつ
ある

特に、世紀またぎで

当事者主権

2010年

「障がい者制度改革推進会議」(内閣府)

構成メンバーの過半数が障がい当事者

Nothing about us
without us

我々（障害者）のことは

我々（障害者）なしで決めるな

行政vs当事者

「これができない、助けて欲しい」(ニーズ)と
障害者(当事者)に頼まれてサービス提供

「何もできない、かわいそうだ」という障害者に
行政がサービスを提供する——(措置という)

障害者自立支援法(2006年)

障害者総合支援法(2013年)

サービスの量と内容を決めるのは

供給者が決めるー福祉の措置

財源の範囲内で量が決まる

サービス提供する人員不足で供給なしになる

施しとしてのサービス

サービスの量と内容を決めるのは

需要者が決める

障害者のニーズに対応

原則、必要なだけ全部

施し、哀れみによるサービスでなくなる

当事者の決意

当事者主権とは、私が私の主権者である。私以外の誰も一国家も、家族も、専門家も一私が誰であるか、私のニーズがなんであるかを代わって決めることを許さない、という立場の表明である。

中西正司「当事者主権」(岩波新書)

当事者と家族

「母よ！殺すな」

脳性まひの子殺し 1970年横浜市金沢区

母親への減刑嘆願運動に対して。

横塚晃一 青い芝の会代表

当事者と家族

やまゆり園事件の被害者の家族

葬儀・裁判において被害者の実名なし

「親なきあと」にこの子はどうなる

施設に子どもを入れたい親はいても、

施設で暮らしつづけたい障害者はいない

当事者と家族

介護はプロに家族は愛を

重度障害者の母親だって
妻だって普通に生活した
い！！

全ての障害者は、他の者との平等を基礎として、その心身がそのままの状態**で尊重される**権利を有する。

障害者権利条約第17条

2006年12月 第61回国連総会で採択

ノーマライゼーション

Normalization

ノーマライゼーション

デンマークのバンク-ミケルセン

隔離的保護的で劣悪な環境の**巨大施設に收容**されている知的障害児者の処遇の実態に怒り

1959年法

「知的障害者ができるだけ**ノーマルな生活**を送れるようにする」(法律前文)

Independent Living

自立生活

家族、施設、病院の支援なしで

障害は乗り越えるもの
ではない
共にあるものだ

SMA(脊髄性筋萎縮症)の海老原宏美

介助者と障害当事者との関係

- 介助者は単なる日常生活の支援者ではない
- 介助者は障害当事者が社会参加し、夢を追いながら生きていくための支援者である
- 当事者と同じ目標を持った同志である
- 当事者の人生と一緒にデザインしていく
- 当事者と互いに尊重し合い切磋琢磨していく

当事者の決意

私のような障害者が地域で生きていこうとすると、社会の側からは「社会的コスト」だとみなされます。しかし、障害者が暮らしやすい社会になると、生きづらさを抱えた他の人も暮らしやすくなります。だから私は「生ききる」ことが社会を変えることになると信じているのです。それが私の第二の人生です。

ALS(筋萎縮性側索硬化症)の岡部宏生(ひろき)

優生思想

身体的、精神的に秀でた能力を有する者の遺伝子を保護し、逆にこれらの**能力が劣っている者**の遺伝子を排除して、優秀な人類を後世に遺そうという思想

旧優生保護法 1948年—1996年

- 第一条** この法律は、優生上の見地から**不良な子孫**の出生を防止するとともに、母性の生命健康を**保護**することを目的とする。
- 第二条** この法律で**優生手術**とは、生殖腺を除去することなしに、生殖を不能にする手術をいう。

当事者の自負

障害は自分の属性の一つ
であるが自分の人格まで
規定するものではない

自立生活運動のリーダーたち

